



瀬田の丘

創刊 1973 年

編集・発行／カトリック瀬田教会信徒会広報部
東京都世田谷区瀬田 4-16-1



今日のみことば

年間第 27 主日 B 年 (2024 年 10 月 6 日)

瀬田教会主任司祭 小西広志神父

第一朗読：創世記 2 章 18 — 24 節

第二朗読：ヘブライ人への手紙 2 章 9 — 11 節

福音朗読：マルコによる福音書 10 章 2 — 12 節

神は人を男と女とお造りになった

三つの朗読から

第一朗読の冒頭、「人が独りひとでいるのは良くない。彼に合う助ける者つくを造ろう」(18 節) を味わってみましょう。

「人が独りひとでいるのは良くない」は、人が単独たんどくでいるのが創造の意図そうぞうに反している、本来の目的にあっ
ていないという意味です。もともと、人は孤独こどくな存在として造られたのではないのです。そして、「彼に
合う助ける者つくを造ろう」は、直訳してみると「彼のネゲドとして助けを造ろう」になるそうです。前置詞
の「ネゲド」は「目の前にあって、人の注意を引くもの」という意味だそうで、「最初の人目の前にあっ
て、互たがいに完全な者となるために助けとなる相方あいかたを造ろう」という意味となります。

「助け」はエーゼルですが、神から来る助けを表す言葉だそうです。ですから、女が男に差し出す
助けは、男のための補助ほじよではなく、男にとってどうしても必要な助けです。それを「目の前にある」者
としての女からもらうのです。「彼に合う助ける者」とは「対等たいとうに向き合えるパートナー」の意味で理解
できるでしょう。男女は、互たがいに向き合って、自分たちを造られた神から来る助けを知るようにと創造
されたのです。

そして、朗読箇所さけの最初の人間の叫び、「ついに、これこそ……」に注目してみましょう。

最初の人アダムは、一緒いっしょに生きる人を求めていました。自分の呼びかけに答える人を求めていました。
やっとの思いでそのような人と出会ったのです。そこに大きな喜びよろこがあります。

第二朗読の 9 節、「天使たちよりも、わずかの間、低い者とされた」、「栄光えいよと栄誉かんむりの冠さずを授けられ

た」は、どちらも『詩編』8編6節からの引用です。しかし、ヘブライ語の聖書からの引用ではなく、紀元前三世紀ごろにギリシア語に訳された七十人訳聖書からの引用となります。『ヘブライ人の手紙』には、旧約聖書を用いてイエスの救いの出来事を解釈していくという特徴があります。

天使たちより優れた者であるイエス・キリストは、永遠に生きる天使に対して、十字架の苦しみと死のために、しばらくの間、天使より劣った者となりました。それは、すべての人のために死ぬという神の救いの目的を果たすためだったのです。しかも、その死は神の恵みの働きの中で行われました。

また、第二朗読の「恥とされたい」は興味深いです。神は、救いを熱望している信仰者から神と呼ばれることを恥としません（ヘブ11章16節）。彼らを神の国へと迎え入れるのを望んでいるからです。イエスさまは神のそのような願いを実現するただ一人の子、御子です。ですから、自分の力では自分の犯した罪を償えない惨めな人間の兄弟となることを恥とされなかったのです。

福音朗読では2－4節に注目してみてください。すでにモーセの律法が、離縁する権利を認めています（申24章1節）。イエスの時代にも離縁は一般的に行われていたようです。それでもファリサイ派の人々がイエスに近寄って質問したのは、イエスを試そうとするためでした。イエスが離縁についてモーセの律法とは異なる理解、見解を持っていたことをあらかじめ知っていたのでしょう。それで、イエスをおとしめるために、あえて確認の意味で質問してきたのです。イエスの受け答えは上手です。3節で、多くのユダヤ人たちが知っていることがらを問いかけます。4節で、敵対するファリサイ派の口から『申命記』24章1節を語らせ、それについて批判を始めます。それに続く5－8節では、「あなたたちの心が頑固なので」とあります。直訳してみると「あなたたちの頑固な心のゆえに」となります。「頑固な心」はギリシア語でスクレーロカルディアですが、「無理解、不従順」の意味です。『申命記』24章1節はモーセが書き記したもので、創造の時に示された神の本来の意志ではないとイエスは主張します。そして、『創世記』の箇所を示しながら、本来の男女の関係を示します。

「神は人を男と女にお造りになった」を心に留めたいです。イエスさまは、律法の枝葉末節と、正しいか正しくないかにこだわる態度から脱却させようとしています。神のわざの根本へとわたしたちを誘います。

お知らせ

10月27日はロザリオ祭です。

10時半からアントニオ会館の庭でミサとなります。

ミサ後、軽食をいただきながら懇談しましょう。

9時半のミサはありません。